

(様式第2 (一))

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

1 / 5

識別番号・報告回数	B-07009707	第1報	関連報告番号	重篤	医学的確認	死亡日	機構処理欄
副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過							
2003/01/30	入院翌日より、落ち着きが見られた。(症状軽快)						
入院時よりこれまでの薬(ルボックス、アモバン)は中止し、ロヒプノール(2mg)1錠のみの眼前投与を続けた。							
入院時の不眠に対しては隔離室を使用した。							
2003/02/01	2月1日～5日外泊を試みる。						
2003/02/05	退院。						
2003/02/14	外来でフォロー。						
2003/02/18	外来でフォロー。						
2003/03/04	患者は復職した。						
2003/03/14	外来でフォロー。						
2003/04/11	本日で終診。						
(追加情報)							
2003/01/26	体温39.5度。						
2003/01/27	微熱あり。						
2003/01/29	急性錯乱状態。症状は解熱過程で発現。患者には事象発現時の記憶があった。						
2003/01/30	午前6時、体温は36.1度。						
症状は回復。							
患者には光に対する反応、異常行動、睡眠時驚愕症の既往歴及び家族歴はなかった。							

MedDRA

Version (10.0)